



考えよう？
やってみよう！



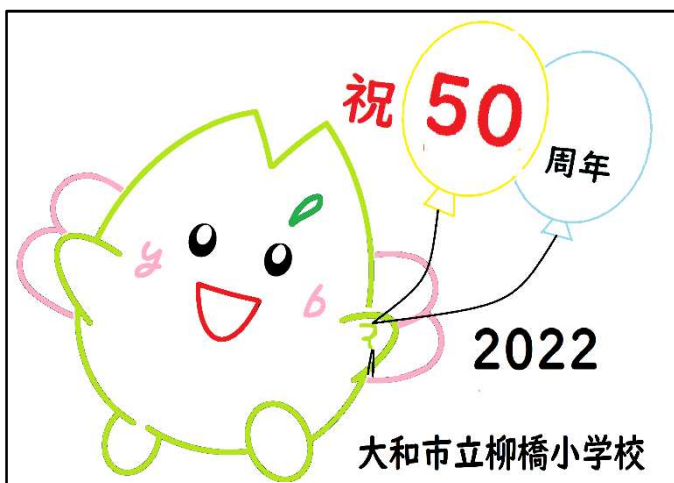
最近、見つけた「宝物」

校長 久津間 仁

「宝物」その1

29日(水)、「50周年航空記念写真撮影」を実施しました。校庭いっぱい、「50周年を祝うゆめりん」(下図)が描かれ、児童は、各自、色パネルをもって、指定場所に立ちました。飛行機が飛んできて、上空からパチリ！

全校が関わって撮った50周年を祝う写真。出来上がりが楽しみです。



校庭に描かれた「50周年を祝うゆめりん」の図

この図案は、計画委員が中心となって、全校に図案を応募したものです。100以上の作品が集まりました。その中から、計画委員が4図案を抽出し、全校の投票によって選ばれたのが、この図案なのです。

その過程には次の『宝物』が詰まっていますと考えます。

- ➡計画委員がリーダーシップをとったこと
- ➡多くの児童が図案の募集に応募したこと
- ➡全校で投票して代表図を選択したこと
- ➡一つの考えが、全校で創る実践になったこと

このような流れが、次々と生まれる一年(宝物いっぱいの50周年)になることを願っています。だからこそ、中身が宝物でいっぱいの写真の出来上がりが楽しみなのです。

「宝物」その2

なかなかいいぞ、6年生。それは、明るくて元気なところ。

朝、教室に入ると、挨拶をしてくれる人がいて気分が良くなる。勉強でわからないところがあったら、やり方を教えてくれる。今まで話したことがなくても、協力して話しかけてくれる。

給食で片付けるのが遅れてしまった人がいたり、給食をこぼしてしまった人がいたら、すぐに手伝ってくれたり「大丈夫？」と声をかけてくれる。誰かが一人になっているのを見つけたら、すぐに声をかけてくれる。私はなぜ、そういう行動をとれるのか気になったから聞いてみた。そしたら、大体の人が「当たり前」と答えていた。

こういうやさしい行動を、当たり前と言ってすぐにできる。このやさしい、明るくて元気な6年生が私は好きだ。

(下線は、こちらで加筆)

6年2組 田邊 未夕

これは、6年生が国語の課題として出した「なかなか作文」(なかなかいいぞ、6年生。それは…で始まる作文)の一作品です。学級通信の記載に目が留まったので、本紙にて紹介します。

何気ない生活の中で、子どもたちが、相手を考えて、声をかけたり、行動に移したり。

読むと心地よくなります。そして、そのような学級、学年が本校児童の集大成である6学年に存在していることを嬉しく思います。

4年前、本校赴任時に、全職員に児童の長所・改善点をアンケートしました。その結果、『長所：思いやりがある』『改善点：自主の力』という傾向が出ました。それをもとに創ったのが、めざす子ども像「考えよう？やってみよう！課題解決力・自治力を発揮する子ども」。

ですから、『長所：思いやり』の飾らない表出が、とても嬉しいのです。そして、めざす子ども像に向けて、教育活動を展開していることが間違いではないと確信しました。大きな宝物です。